

編 集 後 記

ヒトの病いは素因と環境要因の相互作用の所産だが、疾病により素因と環境要因の関与度に違いはある。今回掲載の論文のテーマはアスベスト、胃癌、肺炎。

断熱効果に優れ建築資材に使用された石綿が人体に有害と分かったのは20世紀の前半だが、対策が取られたのは戦後しばらくしてからだ。その間に多くの労働者が悪性中皮腫に罹患した。

二人に一人が癌で死亡する時代、遺伝子標的治療薬の登場には目を見張るが、その薬価の高額さには目の玉が飛び出てしまう。「命は地球より重い」のだから地獄の沙汰が金次第とならない方策を探って欲しい。

ところで、アザラシしか食べないエスキモー、羊しか食べない蒙古人に比べて先進国の人々は胃癌や慢性膵炎が有意に多いのか？ 飲酒をしないアーミッシュには慢性膵炎はないのか？ そうした点についての研究はあるのだろうか？

ラマッチーニの頃にはなかった職業病に日韓限定だが過労死・過労自殺もある。ウィルヒョウの細胞病理学より遥かに深化したレベルで癌の解明と治療薬開発等、医学の進歩は目覚ましい。生命予後改善に留まらず、健康寿命の改善が患者の願いでもある。

「明日の臨床」の続刊は、社保学術講演会、内科臨床研究会での講演者の執筆頼みだ。講演者にはぜひ執筆をお願いしたい。

月刊、季刊ではなく年間1、2回なので、なんとか持ちこたえているが、高齢化が進む当編集委員会のリニューアル改造も不可欠となっている。謹んで新春のお慶びを申し上げたいところだが、青色吐息の編集委員会の窮状も読者の皆様の力で改善して頂きたいと懇願して筆を置く。

(編集委員 粥川裕平)

編 集 委 員 (50音順 *印委員長)

池 山 淳*	粥 川 裕 平	杉 藤 徹 志	高 橋 英 世
野 村 博 彦	平 井 長 年	松 本 美 富 士	三 浦 義 孝

明日の臨床

Vol. 32 No. 1

2020年3月5日発行

編 集 明日の臨床編集委員会

発行所 愛知県保険医協会

〒466-8655 名古屋市昭和区妙見町19-2

☎(052) 832-1345

制 作 (株)東海共同印刷

頒価 1,000円・発行部数 7,000部